

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
93

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO



発行日：2024年3月27日
発行：せとうちDMO
発行人：遠藤・穂本
住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

SETOUCHI REFLECTION TRIP

瀬戸内Finder

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

<https://www.setouchi.travel/en/>

<https://www.setouchi.travel/jp/>

せとうちDMO主催イベント「第14回せとうちミーティング from 徳島」配信のお知らせについて

今回は、これまでのライブ中継でなく、特設サイト上でプレゼン動画を視聴する形式で開催しています。ぜひご覧ください！



オンライン開催
参加無料!

◆第1部：基調講演

徳島の自然と地域に根差す民俗芸能と、
これからの観光のあり方

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 館長 佐藤憲治氏

◆第2部：徳島の観光取り組み事例紹介

① 「鳴門の渦潮」だけじゃない！～自然と文化が調和する「シン・鳴門観光」の魅力～
(一社)イーストとくしま観光推進機構
事務局次長 井内泰氏

② 世界に開かれた、そらの郷山里物語
～地方創生ESD教育旅行～
(一社)そらの郷 教育旅行担当課長 前田志穂氏

③ 「観光の起爆剤!!世界初DMV」
～線路も走れるバスで交通インフラ改革～
阿佐海岸鉄道(株) 代表取締役専務 大谷尚義氏

※講演タイトル・内容は変更になる可能性があります。



◆第3部：徳島とせとうちDMOの関わり

① 春種まき夏収穫秋冬寝せ込む 阿波藍
世界にひとつだけ「ジャパンプルー」への
こだわり

(有)やまうち 代表取締役 山内浩司氏

② 創業より200余年。ただ、ひたむきに
海賊の末裔が築いた遺産を過去から学び、
共に継承する

(株)本家松浦酒造場 十代目蔵元杜氏 松浦素子氏

③ うだつの町並みから世界へ
日本文化が息づくふるさと

(株)MIMAチャレンジ 事業運営担当

(一社)美馬観光ビューロー 事務局長 山本逸平氏

④ ウミガメが来る、にぎやかその町
美波町 政策推進課長 勘場瀬貴志氏

(株)あわえ 取締役専務 井上基氏

◆第4部：インバウンドマーケットの動向

ドイツ(ヨーロッパ)市場について
～サステナブルを軸とした観光の動向～

JNTO フランクフルト事務所長 白井さやか氏

◆第5部：せとうちDMOの地域および事業者支援

せとうちDMOメンバーズについて

(株)せとうちDMOメンバーズ プロデューサー 遠藤成将

視聴期間：2024年3月25日(月)10:00～4月30日(火)17:00

<お申し込みはこちら>

<https://meeting.setouchidmo.jp/tokushima2024/>

4DMO連携「Greater WEST JAPAN連携会議」を広島で開催しました！

大阪・関西万博の開催を契機とした「Greater WEST JAPAN(西日本広域周遊観光)」を促進するため、関西観光本部、山陰インバウンド機構、四国ツーリズム創造機構およびせとうち観光推進機構の4つの広域連携DMOが2023年5月に連携協定を締結しました。

連携協定の内容は

- ① 広域観光の推進およびインバウンド流動人口の増加
- ② 海外に向けた観光情報の発信

で、四半期ごとに連携会議を開催することとし、2024年3月8日(金)に広島市内の「エディオンピースウィング 広島」の会議室にて開催しました。

会議では2024年度の事業計画および共同事業として、本年9月に開業30周年を迎える関西国際空港における関西エアポート・万博協会と連携したプロモーションの実施を決定いたしました。



(右) 会議中の様子

(左) 会場となったエディオンピースウィング広島は2月にオープンしたばかりのサッカースタジアム。スタジアム以外にも会議室等、多目的な利用ができます。



「せとうち観光推進会議」をオンラインで開催しました！

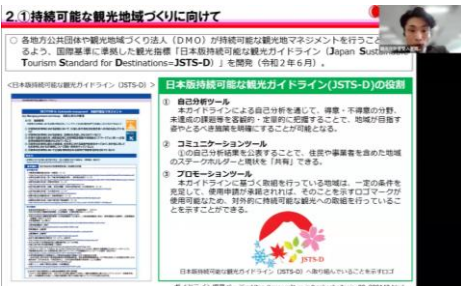
持続可能な観光を目指すため、地域や様々な団体の皆さまとせとうち観光の今後の方向性等を学び、考え合う場、それが「せとうち観光推進会議」です。

年に一度開催し、この度は講師をお招きしてオンライン形式で開催しました。

当日の参加者は120名近く。昨年の約2倍のご参加をいただき、インバウンド回復期において、インバウンド観光やサステナブル・ツーリズム等の観光のトレンドへの興味・関心の高さを窺えました。



(上) 今年度実施の『せとうちエリア』における高付加価値なインバウンド観光地づくりで策定したマスタープランについて報告する当機構の坂元事業本部長



(上) 持続可能な観光推進モデル事業について講演する、観光庁外客受入担当参事官室の岡本専門官

Program

開催日時：2024年3月1日(金) 13:30~15:00

1. 「せとうちエリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくりマスタープランについて
(せとうち観光推進機構坂元本部長)
2. 関西空港を利用するインバウンドの動向について
(関西エアポート株式会社 渉外本部 地域連携部 北林部長)
3. 持続可能な観光推進モデル事業について
(観光庁外客受入担当参事官室 岡本専門官)
4. 持続可能な観光の促進に向けた受入環境整備事業について
(観光庁外客受入担当参事官室 中井主査)

JNTO Japan Roadshow 2024@Sydneyで海外バイヤーと商談を実施！

愛媛県及び広島県と連携して、2月5日にオーストラリアのシドニーにて開催されたJNTO主催のBtoB商談会「Japan Roadshow」及びセールスコールを実施しました。

本商談は、94社約118名のバイヤー（豪州旅行会社）が参加し、国内からセラーとして我々も含め約30団体が参加しました。1商談あたり10分間×計5回（スピードデートセッション）の形式が取られており、せとうちDMOからせとうち観光推進機構（誘客G）が参加し、約20社と商談を行いました。現地旅行会社が日本への関心を高めているという印象を肌で感じる事が出来ました。



▲会場の様子



▲商談の様子

また 商談会に併せて、現地メディア・旅行会社など2日間で7社に対しセールスコールを実施しました。セールスコール後、早速現地メディアから連絡があり、2月末にオンラインメディアにて大洲城やせとうちの海とヨットについての記事発信を行っていただきました。また、昨年度別事業にてセールスコールを実施し、関係を構築してきた現地メディアから、せとうちを取り上げる記事を発信いただくなど、継続的な関係構築の重要性を感じました。

これから、訪日インバウンドが回復していく上で、非常に日本への関心度が高いオーストラリア市場の可能性、瀬戸内地域を旅行先として選択肢にのぼらせ、実際に広く巡ってもらう上でさらなる認知向上の取組みの大切さを改めて実感した出張となりました。今回得たリレーションを大切にしつつ、得られた知見を今後の事業展開に活かしてまいります。



▲セールスコールの様子①



▲セールスコールの成果

先進的なDMO主催の実地研修に参加しました！

先進的なDMOから学び、DMOの組織強化・パワーアップを目的とした観光庁の令和5年度「観光地域づくり法人の体制強化」事業。その一環でDMO実地研修が開催され、当機構職員も各研修に参加しましたので、研修先の様子をご紹介します。

岩手県 株式会社かまいしDMC

サステナブルの国際認証団体「Green Destinations」によるTOP100に複数回選定されている釜石市で、地域の多様なステークホルダーと連携しながら持続可能な観光地域づくりの取り組みをリード。

同市が抱える観光資源が少ない、ビジネスのシングルユースがメイン等の課題を、市が経験した震災のストーリーや地域住民が観光客受入にポジティブ等の「ならでは」の強みと絡ませることで企業研修や教育旅行、一次産業事業者も巻き込んだ体験コンテンツの造成に取り組むことで着実に成功体験・実績を積み重ねて来られました。

本研修では、かまいしDMCの成り立ちやその数々の取り組み等について沢山学びました。



東日本大震災と釜石

▲ 震災の記憶から学ぶマネジメント研修

震災当時中学2年生で、実際に被災された方から地震・津波の恐ろしさをリアルに語っていただきました。
また、震災時に自分などのような判断をするか、緊急時における判断の難しさをワークショップを通して学びました。

得られた知見

サステナブルの捉え方が非常に先進的で、プログラム造成の際には「有益性」「収益性」「再現性」「誘引性」「満足度」の5つの観点を重視・意識しながら取り組んでおり、サステナビリティを取り組み全体に上手く埋め込むことで取り組み自体の持続可能性も実現していることは学びとなりました。

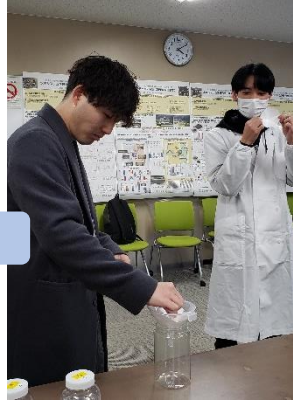
また、「地域住民のため、地域経済のため」という意識を忘れていないため、そうした地域への高い還元が、ステークホルダーへの理解・更なる連携に繋がっているのではないかと感じました。

市内観光資源ガイド

かまいしDMC代表取締役の河東さんによるガイド。
観光資源のご案内や釜石市が抱える課題・現状、市が経験した震災被害等についてご説明いただきました。

マイクロプラスチックプログラム

岩手大学の学生に説明いただきながら、マイクロプラスチックゴミの抽出実験を行うことで海洋プラスチックゴミが自然環境に与える影響等について考えました。



兵庫県 (一社) 豊岡観光イノベーション

(一社) 豊岡観光イノベーションが中心となり取り組まれている城崎温泉での豊岡観光DX推進事業の取り組みを学びました。

城崎温泉の宿泊予約データを収集、分析し、宿泊施設をはじめとする事業者の収益最大化、生産性向上を図り、行政やDMOだけでなく、旅館事業者（特に若手旅行事業者）等地域事業者を巻き込み、地域全体でDXに取り組まれている様子を視察。

現状、城崎温泉にある約70旅館のうち約40旅館からデータを収集し、温泉街全体の数か月先の予約状況まで把握することができるシステムとなっており、各事業者が他社（最低5社以上の選択が必要）の予約状況やプラン比較等を確認することも可能な仕様となっており自社のプラン調整ができる先進的な取り組みとなっていました。

全国から地域・地域連携DMOの方も参加し、各地域の現状や課題を共有する機会にもなりました。



▲ 城崎温泉街の様子

城崎温泉街でのガイド

豊岡DMO様のガイドの中、城崎温泉街を散策。
温泉街に7つある外湯について、QRコードを用いて混雑状況を可視化する取り組みについて説明を受けました。
温泉街は平日にも関わらず、観光客が多く、インバウンドの方も多数来訪されています。

講義・座談会の様子

今回は座学中心の研修で、観光DXやCRMの取り組みについてお話を伺いました。
参加者同士の座談会もあり、全国各地から参加したみなさまの取り組みや課題を聞くことができました。



3/9 (土) ~ 4/7 (日) 「瀬戸内海国立公園指定90周年」を記念した コラボレーション展示を広島県立図書館に開催中です!!

1934年3月16日に瀬戸内海国立公園として指定されて今年で90周年!!

せとうち観光推進機構は環境省と2019年に「国立公園オフィシャルパートナーシッププログラム」を締結し、本日まで瀬戸内海国立公園の魅力発信に尽力してきました。

90周年の佳節を記念して、広島県立図書館様および環境省中国四国地方環境事務所様と連携して、記念のコラボレーション展示を開催中ですので、皆さま是非ご来館ください!!

展示概要

- 期間：2024年3月9日(土)~4月7日(日)
- 場所：広島県立図書館 入口付近(広島県広島市中区千田町3丁目7-47)
- 連携：中国四国地方環境事務所および一般社団法人せとうち観光推進機構
- 内容：瀬戸内海国立公園の関連図書および観光パンフレットの配架



(上) 展示の写真

2023年度 瀬戸内ブランド登録商品 【新規】3月登録商品※発売前商品を除く

◆2024年3月の新規瀬戸内ブランド登録商品について

一般社団法人せとうち観光推進機構では3月に瀬戸内ブランド登録商品として新たに2社の9商品を登録しました。

これにより、瀬戸内ブランド登録商品として累計で食品等366事業者の1,185商品が登録されたこととなります。(販売終了商品を含む)。

なお、瀬戸内ブランド登録制度では、瀬戸内エリア特有の「自然(島や内海)」、「食」、「歴史」といった資産をもとに、創意工夫によって開発され、瀬戸内ブランドのアイデンティティを体現するような商品(サービス商品は受付終了)を登録基準に基づき瀬戸内ブランドの商品として登録しております。これにより「瀬戸内」のブランド価値を向上させ、広く国内外に認知が広まることを目指しています。

※せとうちDMOのHP内掲載：<https://setouchitourism.or.jp/ja/service/product/>



1 ヤマトフーズ株式会社

- ①どろスコ
- ②レモスコボン酢
- ③レモンにんじンドレッシング
- ④レモン青じそドレッシング
- ⑤レモ缶境港サーモンの塩レモンオイル漬け
- ⑥レモ缶北海道はたてのレモンバター風味



2 ヒロコンフーズ株式会社

- ①おふくろさん
- ②はちみつこんぶ
- ③うす焼きちりめんこんぶ



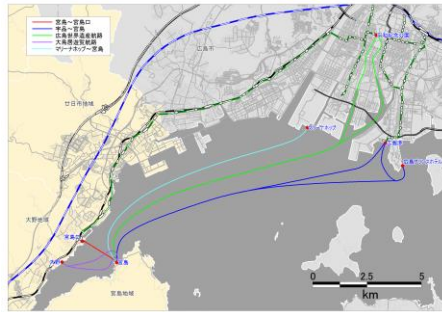
瀬戸内アカデミー報告

瀬戸内アカデミー：第99回「持続可能な観光地域づくりに向けた宮島訪問税の導入」

今回、ご講演をいただきました広島県廿日市市は、世界遺産「厳島神社」が立地する、世界でも人気の観光地「宮島」を擁する自治体です。将来にわたって持続可能な観光地域づくりを見据えた「宮島訪問税」が検討され、2023年10月から導入されて現在に至っています。この度の瀬戸内アカデミーでは、観光都市が直面する財政の課題や、導入に向けて検討の結果分かってきたことなどについてお話をいただきました。多くの方にご参加頂き、盛況に終えることができました。



廿日市市の位置



宮島への航路

- ◆日時：2024年2月22日（木）14時～15時
- ◆講師：広島県廿日市市 宮島企画調整課 宮島訪問税係 係長 児玉 剛樹 氏



世界遺産「厳島神社」



オーバーツーリズムのイメージ



瀬戸内アカデミー：第100回：瀬戸内・広島に新しく巨大な観光コンテンツが出現！～ただのサッカースタジアムじゃない！エディオンピースウィング広島の魅力とは～

2024年2月、広島市内中心部の原爆ドームから徒歩約8分と国内では他に類を見ないまちなかサッカースタジアムである「エディオンピースウィング広島」が開業しました。

HIROSHIMAを訪れた多くの方に平和記念公園からの周遊ルートの確立に大きなポテンシャルを秘めている新スタジアムの魅力を、指定管理者である(株)サンフレッチェ広島の仙田社長よりお話しいただきました。

参加者からは、スタジアム建設のストーリーや携わった方々の想いに感動した！観光文脈でも連携し盛り上げたい！などなど感想があり、たくさんの参加者の学びになる機会となりました。

★今回、開催100回を記念し、スタジアム内の「記者会見室」にてハイブリッド実施し、講演後にスタジアムツアーを実施しました！



記者会見室でのセミナー模様

ピッチの近さに改めて驚きました！



「懂れるのをやめましょう！」と参加者皆さんがロク々に言っていました(笑)



- ◆講師：(株)サンフレッチェ広島 代表取締役社長 仙田信吾氏
- ◆日時：2024年3月7日（木）14:00～15:00
- ◆スタジアムツアー：同日 15:30～16:30

